

鳥取県東部圏域と兵庫県美方郡で形成する因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏で取り組む アドバンス・ケア・プランニングの普及・啓発

鳥取県東部医師会 在宅医療介護連携推進室
橋 本 渉 (はしもと わたる)

日本緩和医療学会 第6回中国・四国支部学術大会COI 開示

演題名：鳥取県東部圏域と兵庫県美方郡で形成する因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏
アドバンス・ケア・プランニングの普及・啓発

発表者名：橋本渉、國本あずさ、小林梨恵、塩谷航平

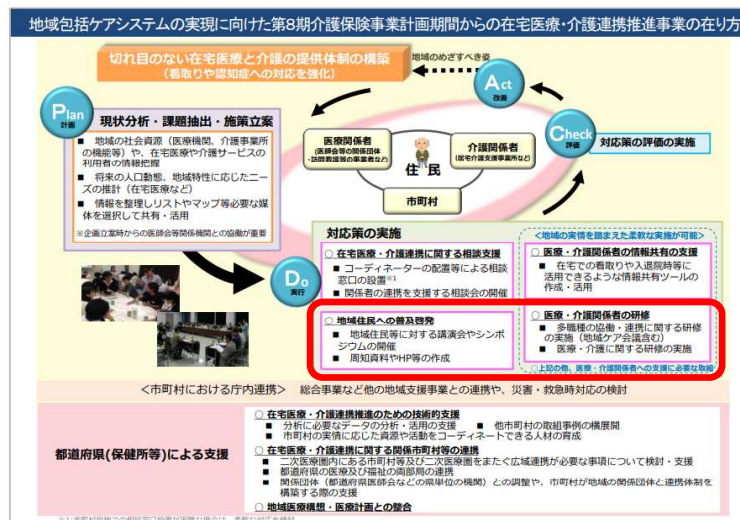
演題発表内容に関連し、
主発表者及び発表責任者には、
開示すべきCOI 関係にある企業等はありません。

鳥取県（東部）の位置・現状

鳥取県推計人口（R6年1月）
5 3 万 6 千 人（4 7 位）



- ・2次医療圏・生活圏域もおおむね 東・中・西部の3圏域
- ・鳥取市はH16.11に周辺8町村と合併、人口18万人（H30.4中核市へ移行）
- ・東部圏域は、鳥取市、岩美町、智頭町、八頭町、若桜町の1市4町



在宅医療・介護連携推進事業の手引きVer.3（厚生労働省）

東部 1 市 4 町での体制構築の必要性 (H27～)

図 8 高齢者の状態像の変化と出来事イメージ 在宅医療・介護連携推進事業の手引きより



1. 医療圏と医師会の範囲が東部（1市4町）で一致する。
2. 急性期医療（鳥取市内の病院が中心）の入退院時から連携する必要がある。
3. 在宅医のバックアップや在宅患者急変時の後方支援、24時間体制の構築等は、単独市町では困難である。
4. 医療資源の地域間格差があるため、圏域全体で考えていく必要がある。
5. 医療圏全体で統一した事業の推進は、行政側、医療側ともに、効果的・効率的である。

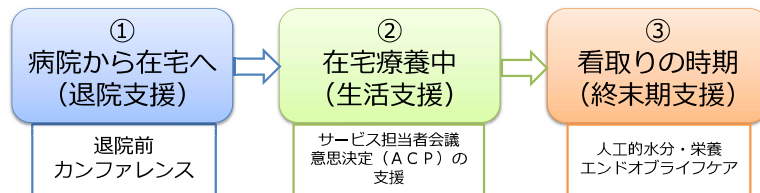
在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）



在宅医療・介護連携推進事業の手引きVer.3（厚生労働省）

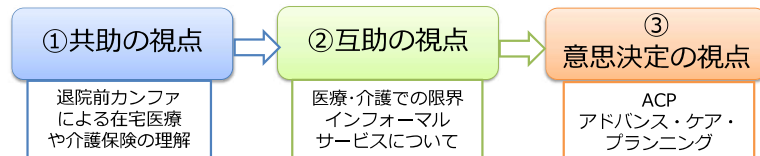
共通プログラムでの多職種研修と住民啓発

（多職種研修）地域包括ケア専門職“絆”研修（3回シリーズ）H29.4～

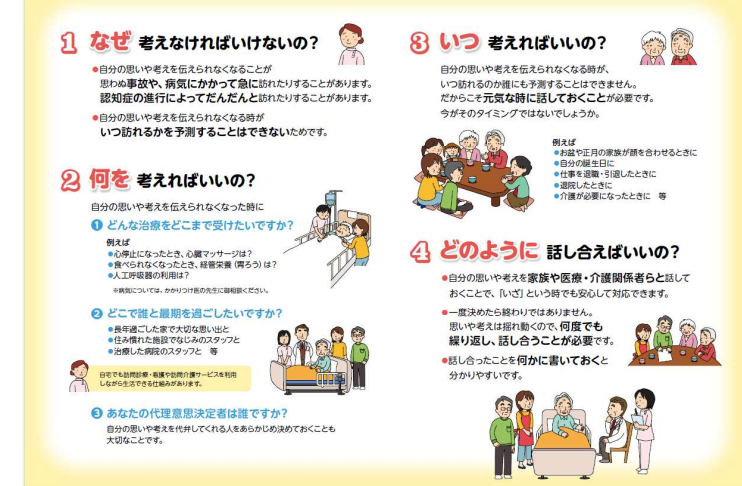


共通した、仮定の症例で、研修を実施（寸劇動画を作成）

（住民啓発）我が家（うちげん）に帰りたい（寸劇2部構成）H29.2～



ACPパンフレット「さいごまで自分らしく豊かな人生のためのわたしたちの心づもり」



終活支援ノート 「わたしの心づもり」

「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」

ACPの啓発活動を展開（平成30年6月～）



【ノートの特徴】

繰り返し話し合った気持ちが残せるよう、
もしもの時の医療や介護のページ
(ACP)が3回分あります。

◆ 1市5町で同内容の住民啓発を行って
います。（令和2年度～香美町も参画）

県境を越えた、連携中枢都市圏での取組み（H30～）

※急性期医療の中心が東部医療圏であった

取組みの概要

- 取り組みの情報共有
 - ・入院・退院時におけるケアマネジャーと医療機関の
連携・情報共有の手引き
- 多職種研修会・講演会の共有（相互案内・参加・講師）
- 住民啓発（ACP）の共通ツール
- 認知症施策の連携、地域包括支援センター連絡会



わたしの心づもりの使い方

第3章. もしもの時は・わたしの心づもり…………… 9

- ステップ1 アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）を考えたとき
- ステップ2 気持ちが変わったとき
- ステップ3 人生の終活を考えたとき

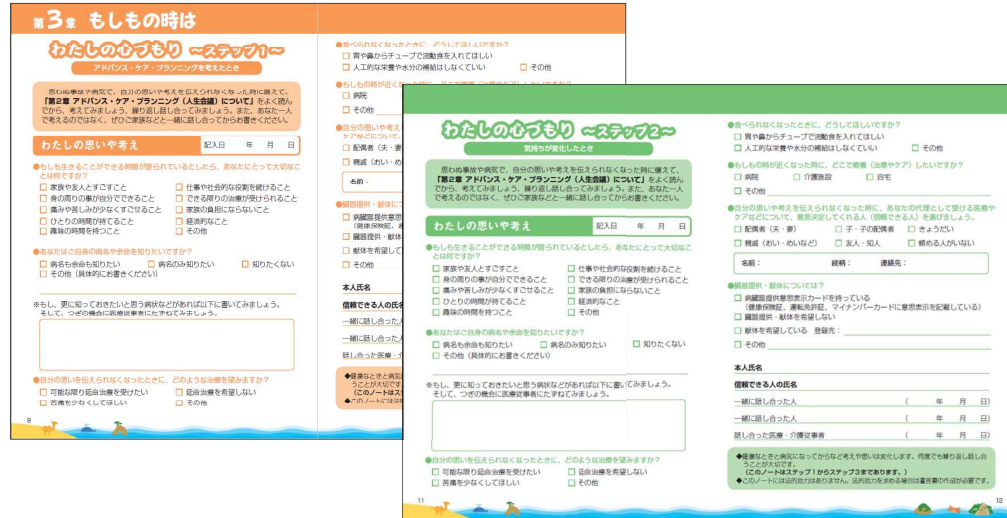
基本的な流れ



143回：延4,707人



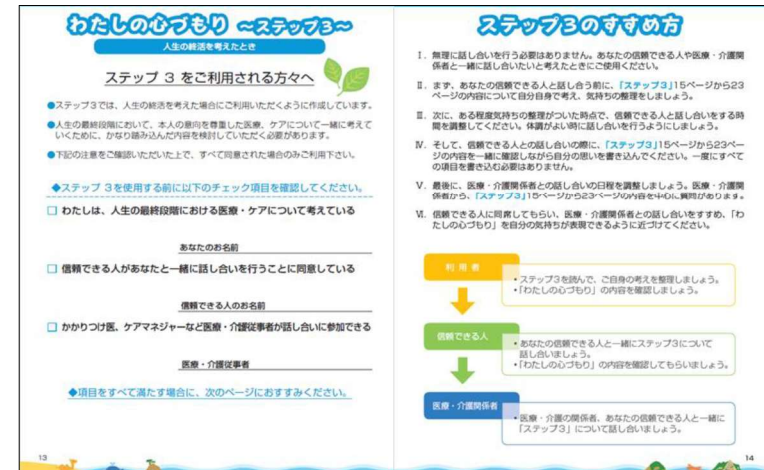
学習会の様子



平成28年度～（3回シリーズ）
令和6年度（第9回）を開催中



ステップ3のすすめ方



ACP導入の実践研修（ロールプレイ）

1セット × 3回



- ・ 本人
- ・ 信頼できる人
- ・ 医療介護従事者

- ・ 恥ずかしがらず、役になりきる
- ・ 文脈は自分でアレンジしてもよい
- ・ 対応の難しい役を演じない
- ・ 7分間で話し合いを完了する必要はない
- ・ ロールプレイが終わったら、完全に役からおりる



振り返り順

- 医療介護従事者(2分) → 本人(2分) → 信頼できる人(2分)
- ・ 役を演じた感想
 - ・ うまくできた事
 - ・ うまくできなかった事
 - ・ 役の感想
 - ・ 良かった点、参考になった点
 - ・ 改善点(こうしたらもっと良くなる点)

今後の課題（2040年に向けて）

- 医療・介護専門職、住民、双方への継続した普及・啓発！
- 多死社会を迎える**2040年に向けて**、いよいよ待ったなし！
高齢者だけでなく、**家族の世代への啓発**が急務である！
- 医療・介護専門職は、**コミュニケーションスキル**の向上！
- 医療・介護専門職は、自分のACP、家族のACPを実践できているか？
押付けにならない、より良いACPのために！